

## 第 6 回 G X 実行会議への意見

日本商工会議所会頭 小林 健

### (1) G X 推進戦略について

- 今般、「G X 実現に向けた基本方針」を踏まえ、「G X 推進法」および「G X 脱炭素電源法」が成立したことを歓迎する。
- 2050 年カーボンニュートラル実現に向け、エネルギーの安全保障と量・価格両面での安定供給を図りつつ、新たな技術開発等の挑戦を加速し、わが国経済の長期停滞からの脱出と新たな成長エンジンとしていくことが肝要である。「G X 推進戦略」の速やかな策定と実行を期待する。

### (2) 民間投資の加速と地方・中小企業への波及について

- G X 関連分野における民間投資が動き始めていることは喜ばしいが、今後一層の加速が不可欠である。
- 政府による 20 兆円規模の投資促進策を講じるにあたっては、産業競争力強化・経済成長および排出削減のいずれの実現にも貢献する分野に重点を置くとともに、地域脱炭素の取組みや中小企業への波及効果についても念頭に置かれない。

### (3) 中小企業による G X の後押しについて

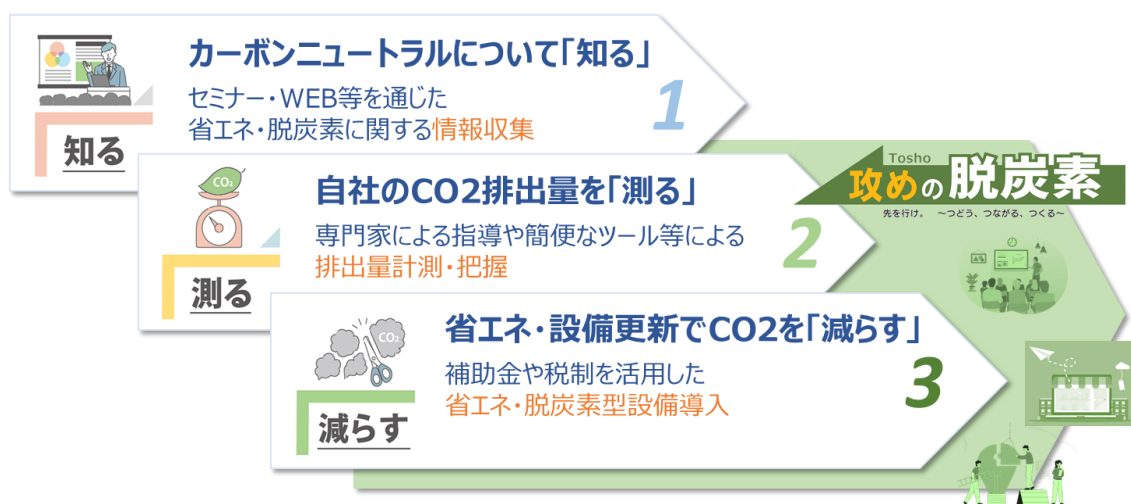
- わが国温室効果ガス排出量の 1～2 割弱を占めるとされる中小企業の G X 推進は極めて重要である。省エネ・CO<sub>2</sub> 排出削減やグリーン関連ビジネスへの取組みに対する、政府の力強い支援をお願いしたい。サプライチェーンにおける大企業と中小企業の連携・協業も肝要であり、「パートナーシップ構築宣言」を通じた G X の取組み推進にも大いに期待したい。
- 全国の商工会議所においても、カーボンニュートラルに関する相談窓口の設置や商談会の実施などの取組みが動き始めている。東京商工会議所では、本年 8 月より「Tosho・攻めの脱炭素」(次頁参照)として、少人数・実践型の勉強会、ウェブ上のビジネスマッチング、産学公連携等の事業がスタートする。商工会議所として、政府や各自治体の取組みとも連携し、地域・中小企業の G X 推進に取り組んでいきたい。

以上

(参考)

## 「Tosho・攻めの脱炭素」事業について

東京商工会議所は、中小企業においてカーボンニュートラルへの理解が十分浸透していない現状を踏まえ、「知る・測る・減らす」の3ステップでの支援を行っている。今般、より実践的な排出削減の取組み＝「測る・減らす」を重点的に後押しするため、新たに「Tosho・攻めの脱炭素」事業を立ち上げる。会員中小企業による省エネ・脱炭素の取組みを、「攻め」＝経営改善と新たなビジネスチャンスにつなげるべく、「**塾**」「**市場**」「**ラボ**」の3事業を通じ支援する。



### 東商脱炭素 “塾”

省エネ・脱炭素に取り組む中小企業が「つどう」少人数・実践型勉強会



### 東商脱炭素 “市場”

省エネ・脱炭素のニーズとシーズが「つながる」マッチングサイト



### 東商脱炭素 “ラボ”

企業と大学・研究機関の連携により新たな省エネ・脱炭素ビジネスを「つくる」

